

声明

関西電力の原発新設方針に抗議し、撤回を求める

関西電力は7月22日に、関西電力 美浜原発での次世代型原発への建て替え方針を発表し、地質調査を実施することを正式に表明した。東京電力 福島第一原発事故の犠牲者、被災者や教訓を踏みにじる行為に、私たちは抗議し、建て替え方針の撤回を求める。

福島では、復興、復旧が道半ばであり、原発の安全性や避難計画の未整備、核のゴミ問題など、多くのことが未解決であり、福島第一原発の廃炉状況を考えれば、新增設の方針を発表すること事態が無責任そのものである。また、脱炭素を考えるなら再生可能エネルギーへの転換に、時間と費用を使うべきである。

第7次エネルギー基本計画から「原発依存度の低減」の文言が、削除されたことからわかるように、原発ありきのエネルギー政策が優先であり、国の政策を進める関西電力も利益しか求めておらず、将来を見据えている企業とは言えない。

核のゴミ、廃炉について多くを語らず、環境問題、コストの話をするのは、問題点を曖昧にしている行為であり、その場しのぎで理不尽である。問題点を正面から捉えていない企業が「安全・安定運転に全力に取り組む」などの発言は無責任そのものである。

福島第一原発事故から15年を迎えようとしている今も被害は続いている。いまだに多くの人びとが故郷へ戻れず、生業、コミュニティーも壊されたままであり、補償も十分に行われていない。この被害から目を背け、事故の教訓を忘却し原発回帰することは許されない。

私たち原発をなくす全国連絡会は、関西電力 美浜原発での次世代型原発への建て替え方針に抗議し、撤回を求めるとともに、すべての原発の廃炉と再生可能エネルギーへの転換を求めて闘い続ける決意である。

2025年7月25日

原発をなくす全国連絡会